

林業を支えよう

ふ だん私たちは「森林のはたらき」についてあまり意識していませんが、実は、森林は私たちの暮らしにはなくてはならないものなのです。

三重県では、森林面積の約60%を人工林が占めていることを考えると、人工林をよく手入れすることで、私たちに多くの恵みを与えてくれる「森林のはたらき」をより高めることができます。

しかし、安い輸入材や新建材の使用の増加などによって国産材の利用が減少し、木材価格の下落が進んでしまいました。そのため、日本の林業の採算性が悪化し、手入れをしない放置林や、木材を伐採した後、植林されない山が

増加して、「森林のはたらき」がうまく機能なくなってきています。

林業が産業として成り立てば、人工林は健全に保たれ、「森林のはたらき」もより機能するはず。そのためには、林業者が生業としていけるよう木材が使われることが必要であり、そうなることで、継続した森林管理に必要な後継者の確保にもつながっていくことになります。

このように、健全な林業経営と私たちの暮らしは大いに関係があり、私たちが何かの形で林業を応援していくことが大切なのです。



↑上尾さんの山。間伐により密度管理がされているため、自然災害などに強い。日差しが入りこんで、山の中は明るい。木は太く、真っ直ぐ伸びている。



↑手入れの行き届いていない人工林。混み合っただけで日光が入らず薄暗いため、下草や低木がほとんど生えていない。地表面の土が流れてしまって木の根もむき出しになり、木々は細いまま。

森林を元気にしよう!

たとえば、生活の中で国産材でできた木製品を使ったり、「三重の木」で家を建てたり、内装を施したり、……。

森林はいろいろな形で、私たちの生活を支え、守ってくれる存在です。私たちは森林や林業に対してもっと関心を持ち、健全な林業経営を応援していきましょう。

木製品を使おう!

日常使う食器や家具、文具やおもちゃ、家の柱や内装などに国産材製品を使ってみましょう。木が身近にある生活は、私たちに温かみを与えてくれます。



木の皿

マウスパッド

まな板

お箸

このマーク知っていますか?

「サンキューグリーンスタイルマーク」

国産材を利用してつくられた製品に付けられる環境貢献の証しのマーク。木づかい運動のシンボルマークです。



「間伐材マーク」

間伐材を用いた製品を表示するマーク。間伐推進の普及および間伐材の利用促進と消費者の製品選択に役立ちます。



三重の木を利用しよう!

日本は今、木材自給率がわずか20%程です。「三重の木」を使うことは『緑の循環システム』(P.3参照)の維持につながり、三重県林業を活性化させます。

また、輸入材は輸送の際にCO₂をたくさん排出しますが、三重県産の木材を使うことは、輸送時のCO₂排出量を大幅に削減することにつながります。

「三重の木」認証マーク



このマークは、三重県独自の「三重の木」認証制度に基づいた製材品に与えられるもので、県産材であることや一定の規格基準に適合した製品であることを明らかにしています。



市民の森林づくり活動



NPO、市民団体、企業なども、手入れのされない放置林の枝打ちや間伐などを実施して、人工林健全化のための活動を進めています。林業の活性化とともに、このような多様な主体で森林を支えていくことも、これからは大切です。

「三重の木」利用推進協議会 URL <http://www.mienoki.net>

写真提供: 森林施業NPO法人 森林の風 (<http://www.morinokaze.info>)